

【算数・小5・「四角形と三角形の面積」】①

育成を目指す資質・能力

平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの構成要素や性質に着目し、既習の面積の求め方を基にして、図や式を用いて面積の求め方を考え、表現している。

ICT活用のポイント

グループ、全体で三角形の面積の求め方を説明し合い、考え方を分類する際に、それぞれの考え方を図示しながら分かりやすく説明し合い、分類するために学習支援ソフト、大型モニターを活用した。

課題を把握し、学習の見通しをもつ。

めあて：三角形の面積の求め方を考えよう。

個人で問題解決に取り組む。

グループで考えを説明し合い、考え方を分類をする。

どのように考え方を分類したかを全体で比較検討し学習をまとめる。

事例の概要

○グループ、全体で学習支援ソフト、大型モニターを用いて三角形の面積の求め方を説明し合い、考え方を分類することで、既習の図形の面積の求め方に帰着して考えればよいことを理解する。

【事例におけるICT活用の場面①】

個人での問題解決に用いたワークシートを写真にとって学習支援ソフトで共有し、それを見ながら三角形の面積をどのように求めたのかをグループ内で説明し合う。さらに、面積の求め方の共通点に着目して考え方を分類する。

【事例におけるICT活用の場面②】

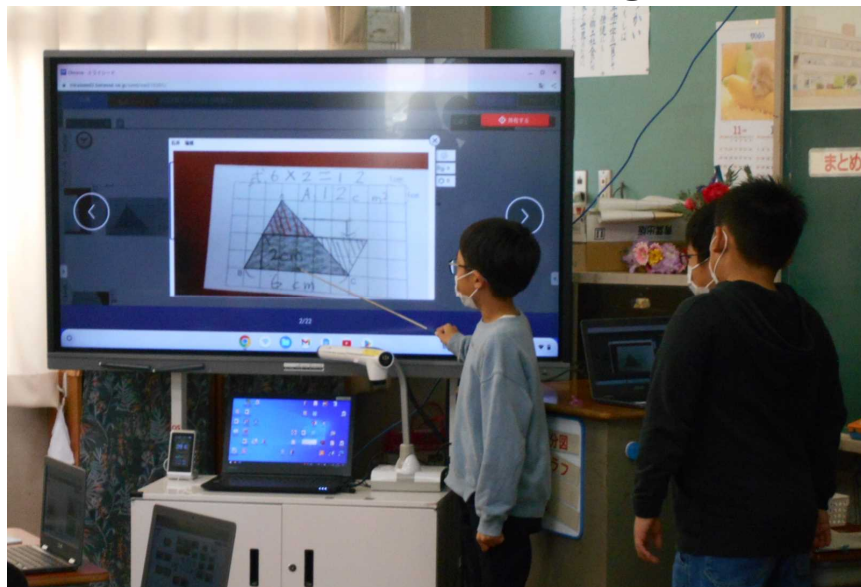
児童が三角形の面積の求め方や考え方を分類した結果を図示した画面を大型モニターに映し出し、学級全体で共有する。代表児童が考え方を説明し、考え方の共通点や相違点について考える。グループごとに考え方をどのように分類したのかを発表し、分類の仕方の共通点を見出す。

【算数・小5・「四角形と三角形の面積」】②

【事例におけるICT活用の場面①】



【事例におけるICT活用の場面②】



本時においては、面積の求め方をグループで説明し合い、考え方を分類する場面で学習支援ソフトを活用し、全体で考えを共有する場面で学習支援ソフトに加えて大型モニターを活用した。

ワークシートを撮影した画像を学習支援ソフト上で共有したことにより、作業の効率化が図られた。

学習支援ソフトを用いて、児童のICT端末上にそれぞれの考え方を図示したものを見せ合いながらグループで三角形の面積の求め方を説明し合ったことは、「図や式を用いて面積の求め方を考え、表現している。」という資質・能力の育成の上で有効であった。ICT端末上の図を基に説明することで、児童は考えを整理し、筋道立てて分かりやすく説明することができた。

ICT端末上の図を見ながら他の児童の説明を聞くことは、三角形の面積の求め方を視覚的に理解することにもつながった。

全体で考えを共有し、説明し合う場面では、学習支援ソフト上で教師のICT端末に提出されたシートを大型モニターに提示しながら考え方を発表し合った。考え方を図示したものを示すことにより、1つの課題に対して様々な考え方があることを視覚的に理解することができた。全体で考え方の分類の仕方を共有し、その共通点を考えたことにより、考え方は異なっても、既習の図形に帰着することによって三角形の面積を求められることに気付くことができた。